

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	精神障害者社会復帰施設運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	保健福祉部	課等名	福祉課		包含する細々目	1	3	1	3	26	3	0	
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり												
施策	34 障害者福祉の推進												
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間	S60	年度～	18	年度							
						関連計画 条例等	長野県障害者プラン 飯田市飯田市障害者プラン 精神障害者社会復帰訓練事業補助金交付要綱						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	社会復帰するために、日常生活に於ける指導や訓練が必要な精神障害者	日常生活の訓練や指導を必要とする在宅の精神障害者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了した年度とする	
			220			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	社会復帰のための訓練に通所してもらう。	指導訓練施設の登録者数 / 日常生活の訓練や指導を必要とする在宅の精神障害者数 (%)	18目標	15	最終目標	
			18実績	14	19目標	↑
			23目標		23実績	最終目標達成年度
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	障害者のスムーズな社会復帰、社会参加、就労を目指して、日中過ごしたり、指導や訓練を行う施設の施設運営費を補助。 【施設】 ・ハートケア蒼い風 (社会生活指導訓練施設) 仲間とともに、家庭生活や社会生活の仕方の指導・訓練を受け、社会復帰を目指す。	ハートケア蒼い風 平成18年4月施行の障害者自立支援法の下で、事業運営の実施方法や、NPO法人設立の相談支援をした。	施設利用者(人)	38
	18年度の実績			
	19年度計画	ハートケア蒼い風は平成19年度から地域生活支援事業の地域活動支援センターに移行するため事業廃止。		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金	3,414	
	起債		
	その他	200	
	一般財源	3,214	
	事業費計(A)	6,828	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	0
	トータルコストA+B	8,616	0

特定財源内訳や補足事項	精神障害者社会復帰訓練事業補助金交付要綱 県 1/2
-------------	----------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	安心して地域で日常生活が送られる	安心して地域で日常生活が送れている割合	現状値	68	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	68
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
精神障害者が日中通える施設として、平成 8年～ ハートケア奮い風が運営を開始した。	日中活動の場として通所する障害者が増加。障害者自立支援法の下で、ハートケア奮い風は福祉施設の新体系への移行について検討が必要。	議会 平成18年第1回定例会議において、障害者自立支援法の内容、事務準備状況、課題等について質問があった。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当でない (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 19 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
	平成19年度から地域生活支援事業の地域活動支援センターに移行。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	